



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

○あづま号訪問支援（広野町・大熊町）

訪問支援の概要

日時 令和6年12月11日（水）9：15～15：00
場所 広野町：町役場内図書室 大熊町：学び舎ゆめの森
参加者 県立図書館…2名 相双教育事務所…2名



I 広野町（9：15～10：30）

利用者ファーストの選書作業

広野町の図書室には「あづま号」コーナーが常設しており、町で揃えられなかった本を補完する形であづま号を有効活用しています。当日は2名の職員の方が一般向けの本と、子供向けの本を分担して選書を行っていました。お二人とも蔵書のリストを把握しているため、ときぱきと本を選んでいました。「この本は新しいね」「この作家さん、好きな人いるんだよね」「海外の作家さんの作品も入れてみようか」などと、町民の皆さんの顔を思い浮かべながら選書を行っていました。いつもは300冊くらいですが、今回は500冊近く選んでいました。

あづま号が来た後の図書室の利用者数は跳ね上がり、貸し出しトップがあづま号からの本になることもあるそうです。もちろん、職員の方々が本のレイアウトを工夫したり、ポップを書いたりして、利用者の皆さんの読みたい気持ちを盛り上げています。我々も本屋大賞コーナーや、作家さんを取り上げたコーナーなども眺めているうちに、読んでみたいという気持ちをかき立てられました。図書室という規模ですが、町の読書文化の発信地となっております。



II 大熊町（13：15～15：00）

「読書の町」の伝統は続く



大熊町では、義務教育学校「学び舎ゆめの森」にあづま号が訪れて貸し出しを行いました。役場の方や保健センターの方は来客向けの本を選んでいました。主に高齢者向けの健康に関する本や趣味の本です。前回の訪問時にオーダーを受け、あづま号の司書さんが準備してきました。

昼休み時になると、多くの子ども達の本を借りに来ていました。学校にもたくさんの蔵書がありますが、最新の本や専門性の高い本はあづま号の得意分野です。今回も、5年生が震災関連の専門書、8年生が鉄道やバスに関する最新刊を借りていました。これらの本も子どもたちのことを考えて持ってきてくれたものでした。

また、1年生でも5冊くらい自分で選んだり、「小説に挑戦してみたい」と語る4年生が何冊も小説を選んだりしていました。なんと5年生の子は、法律の本を選んでいました。これから半年間借りられるので、じっくりと本を読めそうです。「読書の町」大熊の素敵な文化は、学び舎ゆめの森の子ども達にも継承されていました。



広野町図書室のあづま号コーナー



震災関連の本を手にする子



バスの外側でも選書します

